

協力

60



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

自立と連携を 目指して

マザーズ・カウンセリング・センター
運営委員長

山中正雄

「互いに重荷を担いなさい。」ガラテヤ6:2

「めいめいが、自分の重荷を担うべきです。」ガラテヤ6:5

生きることには、大小さまざまな責任を伴います。家庭・職場・学校での役割があり、それを「自分自身の重荷」として受け入れ、担わなければなりません。人と人が協調し、共に生きる。その土台は責任と自由を持つ、自立した「個」としての自覚であるといえるでしょう。

ところが「個」にばかり目が向くと、孤立の道を歩むこととなります。近年、少子化が進むにつれ人との関わりを持たず、不登校、引きこもり、家庭内暴力などで苦しむ若者が多くなりました。これは何を教えてくれるのか。「ヒト」が人間になるためには互いの関わりが必要であり、人間関係つまり「間」が不可欠であるということでしょう。聖書は「互いに重荷を担いなさい」と教えます。どれほど弱さや欠点があっても、互いに支え合う関係の中でヒトは成長していくからにほかなりません。

「互いに重荷を」担うことを私たちが学ぶ、最初の場所は家庭でしょう。どの子どもも不完全で未熟ですから、親の大きな愛情によって養われ、「個」としての自立をはかることができます。人は愛されて、初めて他者の痛みを自らのものとするようになるのです。

しかし私たちが自力では担えない「重荷」もあります。それは罪という一番大きな「重荷」です。だからこそ、主イエスは「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい」(マタイ11:28)と御許に招き、私たちに代わって罪を担ってくださいました。ガラテヤの教会の信徒たちは、キリストの十字架の贖いを軽んじるようになり、パウロの厳しい叱責を受けました。自らの善行で神の前に正しくあろうとする、愚かさ、高慢を指摘されたのです。私たちに染みついた罪はそれほどしぶとく、恐ろしいことを忘れてはなりません。

キリストにあって自立と連携の道を歩む。それがクリスチャン生活の基本的な姿です。ゆるされ活かされる喜びを味わい(安心)、他者のために責任を果たし(自信)、自分の夢の実現に向かって進む(自由)。この3つのプロセスが一つずつ積み上げられていくことをマザーズ・カウンセリング・センターは目指し、家庭の諸問題で悩むお母さんたちを支える活動を続けています。

〔マザーズ・カウンセリング・センター(MCC) ホームページ〕
<http://www.geocities.jp/mococe/>

JESUS TO JAPAN MISSION SEMINARY JTJ 宣教神学校

ジャパン・ミッション・ミュージック・スクール
日本宣教演劇学校

〒110-0015 東京都台東区東上野5-11-9
TEL 03-3842-3412 FAX 03-3842-3415



学長
岸 義紘



国際学長
中野雄一郎



Jesus To Japan

この国 愛する 主イエス・キリスト

Jesus To Japan

世界を救いに やって来た

聖霊の力と愛で、喜び、勝利をつかむ

傷ついた 病める世界を見つめて進む

このキリストの愛に 今 心 迫られ

神の言葉を、心に刻む

このキリストの愛に 今 心 迫られ

神のみわざに生きる

〔校歌 第2節〕

クリスチャン人口1%、礼拝出席者0.2%

この壁を打ち破るにはどうしたら良いか??

こうして、熱い情熱と献身で、Jesus To Japan 宣教神学校は創立されました。

Since 1990年であります。

後援の教団や団体組織を持たないで、「学の独立を貫く独立・独歩の神学校」である為、必然的に、「新しい革袋としての神学校」でなくてはなりません。多数の学生によって、経済的自立を実現する。その為に：

- (1)通学制とビデオによる通信制の併設。
- (2)偏らない超教派であること。(魅力的な超教派の講師陣50名)
- (3)型にはめない最高の講義サービス。(型は学生の所属教会の必要に応じた指導に任せる)
- (4)福音理解(福音神学)を鮮明にする教育。律法主義からの自由。
- (5)誰もががびっくりするほど授業料を安くして(だれでも・いつでも・どこでも)を実現する。
- (6)無数の信徒牧師・信徒説教者・信徒伝道者の排出。

こうして、18年、900人近い卒業生・修了生を送り出して参りました。

クリスチャン人口4%という声もありますから、教会から離れている400万人の回復に向けて、新しい受け皿としての超教派の集いを、2007年4月から毎週月曜日、お茶の水クリスチャン・センターで開始しました。

東京から始めて、全国各地に拡大することをビジョンに!!

お知らせ

伝道団体連絡協議会 2007 年度セミナー

「教会離れを食い止めるには」

日時: 2007年10月4日(木) 10:00~16:00

会場: OCC 9階会議室

テーマ: 「教会離れを食い止めるには」

会費: 3,000円(弁当代を含む)

申し込み締切: 2007年9月21日(金)

申込み先: 伝団協事務局 FAX. 03-3291-5266

今回も有意義な講演がなされます。
皆さん、期待して参加しましょう。



浅見鶴蔵

(伝道団体連絡協議会 副会長・研修会担当)

▼プログラム

- 10:00 開会礼拝
- 10:15 講演(1) 教会離れの現状 三谷康人師
質疑応答
- 12:00 昼食
- 13:00 講演(2) 今後の対策 日下部繁師
質疑応答
- 14:30 休憩
- 14:45 フリートークング
- 14:55 閉会礼拝
- 16:00 解散

おすすめ

伝団協ホームページを 活用しましょう

加盟団体のためのホームページです。

1. アクセスしてください www.dendankyo.com

まずは、ご覧ください。
伝団協の働きの全体や企画、
また加盟団体をお互いに知りましょう。

2. 情報を送ってください info@dendankyo.com

貴団体の企画、ニュースなどの情報があれば、
メールでお知らせください。

3. リンクを張ってください

貴団体のホームページがあれば、
ぜひ伝団協のホームページへのリンクを
はってください。



●日本国際飢餓対策機構

新潟県中越沖地震の被災者救援のために、7月25日～8月5日まで新潟聖書学院を拠点とし、2名のスタッフと数名のボランティアを派遣し、柏崎市およびその近郊において被災者支援の働きを行いました。被災された人々の全人的必要のためにお祈りください。

●こころの友伝道全国連合会

「第54回こころの友伝道全国大会」が下記のように開催されました。主題：「祝福される教会」/時：2007年8月20日(月)～22日(水) /所：天城山荘(伊豆) /ゲスト講師：日本基督教団総会議長、同聖ヶ丘教会牧師 山北宣久師

●太平洋放送協会 (PBA)

各地の放送伝道を支える会と共に進めている放送伝道の働きが、さらに用いられていき、ラジオ「世の光」TV「ライフ・ライン」の放送地域がさらに拡大していきますように。

●日本キリスト伝道会

8月27～29日に行われる「第39回日本伝道の幻を語る会」の主講師の、岸義紘師と山口隆康師を初めとする各奉仕者の御用のためと、各エバンジェリストの働きのために。また超教派の働きを通して、一千万救霊のために力強く前進できるように。

●全日本リバイバルミッション

10月19日(金)～21日(日)「ハワイリバイバルミッション」を、オアフ島ホノルルカピオラニ公園内、野外音楽堂「ワイキキシェル」にて行います。イエス・キリストさまを知らない方々が救われることができるように、お祈り下さい。

●福音主義医療関係者協議会 (EMF)

会長・役員・幹事が改選され、事務局も大阪に移転します。新体制のために。8月のキャンプ(7～10日)、国外研修(16～25日)、10月6日の関西シンポジウムのために。

●日本キャンパスクルセード・フォー・クライスト (CCC)

全国47都道府県にある主要大学に働き人を配置できるよう。そのため地元教会、海外の各団体ともよきパートナーシップが築けるよう。日本人スタッフがさらに与えられるよう。

●高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)

夏のhi-b.a.キャンプ(国際・関東・関西、計6キャンプ)が祝されるように、秋からの特別活動、定期集会在が祝されるようにお祈りください。今年4月から荒井恵理也兄が代表スタッフ(高校生伝道の現場の総責任者)に就任しました。重責を担う荒井兄のために。

●クリスチャン文書伝道団 (CLC)

・9/8(土)にお茶の水店が新装オープンします。今まで以上に、多くの人々にご利用いただけるように。また、未信者の方々もより多く来店され、キリスト教に触れる機会となるように。
・これから数年、引退者が続きます。新たな働き人が主によって与えられますように。

●お茶の水クリスチャン・センター

1. ゴスペルを歌おう(第1、第3日曜日 16:00～)
2. 賛美と聖書の集い
(第2、第4金曜日は10:30～、第3木曜日は19:00～)
3. フライデーナイト(毎週金曜日 19:00～)
4. ITCN集会(毎週月曜日 11:00～、15:30～、19:30～)

●国際ナビゲーター

6月から8月上旬にかけて行われた「サマーインパクトジャパン」で、米国からのサマーチームが、日本の5ヶ所の地区の大学で学生に福音を伝えていきました。伝道の実として救われた者が成長してキリストの弟子とされていきますように。

●J.T.J宣教師学校

たび重なる、新潟地方の被災地の人びとに、神様の温かい慈しみと、大いなる恵みがそそがれますように。そして、一日も早い復興、復旧がなされますように。

●小さないのちを守る会

今、驚くべき勢いで10代の性感染症が急増しています。この危機的課題の解決の鍵を持っているのは教会以外にありません。伝道以外にはないのです! 滅び行く者の血の責任を痛感し、具体的に叫び、祈り続けてください。神の秩序回復のために! 救霊の急務を痛感しています。

●アジアンアクセス

ダグラス・バーゼン総裁がローザンヌ国際議長職に専任するために総裁を本年9月末で辞任致します。ブルース・ジョンソン理事総裁代行のリーダーシップのためにもお祈りください。

●いのちのことば社

福音を伝えるために、多岐にわたり働きをすすめております。クリスマスに向かって多くの出版や計画をしておりますが、ひとつひとつが主に導かれ豊かに用いられますように。また、全国のキリスト教書店の働きが守られ祝福されますようにお祈り願います。

●総動員伝道

- *8月20～24日、泉南郡田尻町でトラクト配布。
- *8月28日に「総動員伝道」紙の発送作業をします。機関紙が主に用いられ、諸教会に宣教のビジョンが与えられるように。
- *9月7～10日 姫井が渡米し、帰国者伝道についての会合をします。海外で信仰をもって帰国した人々が教会に繋がるように。
- *9月24～10月15日 アメリカのバスケットボールのチームが来日し、諸大学、高校で試合とクリニックをし、伝道します。彼らが用いられるように。
- *11月15～19日 中国・上海で姫井が日本人伝道をしてきます。

●日本伝道者協力会

- *9月3～5日 リトリートと総会
テーマ：日本の教会が抱える現代の課題
講師：大川従道、尾山令仁、岸義紘、高橋敏夫、福澤満雄
- *10月19～20日 仙台にてクリストファー・サン伝道大会が開かれます。多くの人々が救いに導かれるように。